

# 地元金融機関調査資料

2017年12月

調査レポート名	概要（一部抜粋）																								
百五経済研究所 「地域経済レポート」 2017年11月	<p>【三重県経済の動向】</p> <p>〈現在の景気〉                      緩やかに回復している。個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しており、生産は回復、雇用は高水準で推移。</p> <p>〈当面の見通し〉                      緩やかな回復が続く。生産の回復、設備投資のさらなる持ち直しが期待されるなか、雇用は高水準を維持し、所得環境の改善が期待される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>動向</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人消費</td> <td>一部で弱い動きがみられるものの持ち直している</td> <td>10月の乗用車販売台数（普通＋小型＋軽）は1.1%増で12か月連続の増加。</td> </tr> <tr> <td>住宅建築</td> <td>一服</td> <td>9月の住宅着工戸数は、前年比5.3%増で2か月ぶりの増加。</td> </tr> <tr> <td>設備投資</td> <td>持ち直し</td> <td>普通貨物（△8.3%）と小型貨物（△11.1%）が2か月連続で減少、軽貨物（△11.1%）は7か月ぶりの減少。</td> </tr> <tr> <td>公共工事</td> <td>横ばい</td> <td>10月の公共工事請負件数は前年比10.5%増で4か月ぶりの増加。</td> </tr> <tr> <td>輸出入</td> <td>足踏み</td> <td>県内2港の通関輸入額は、15.5%増と3か月連続の増加。</td> </tr> <tr> <td>生産活動</td> <td>回復</td> <td>8月の鉱工業生産指数（季調済）は140.1と前月比（+4.2%）で2か月連続の上昇、原指数は130.9と前年比（+5.4%）では5か月連続の上昇。</td> </tr> <tr> <td>雇用情勢</td> <td>高水準続く</td> <td>9月の有効求人倍率（季調済）は1.64倍で、前月比0.02ポイント上昇、53か月連続で1倍を超え</td> </tr> </tbody> </table>	項目	動向	コメント	個人消費	一部で弱い動きがみられるものの持ち直している	10月の乗用車販売台数（普通＋小型＋軽）は1.1%増で12か月連続の増加。	住宅建築	一服	9月の住宅着工戸数は、前年比5.3%増で2か月ぶりの増加。	設備投資	持ち直し	普通貨物（△8.3%）と小型貨物（△11.1%）が2か月連続で減少、軽貨物（△11.1%）は7か月ぶりの減少。	公共工事	横ばい	10月の公共工事請負件数は前年比10.5%増で4か月ぶりの増加。	輸出入	足踏み	県内2港の通関輸入額は、15.5%増と3か月連続の増加。	生産活動	回復	8月の鉱工業生産指数（季調済）は140.1と前月比（+4.2%）で2か月連続の上昇、原指数は130.9と前年比（+5.4%）では5か月連続の上昇。	雇用情勢	高水準続く	9月の有効求人倍率（季調済）は1.64倍で、前月比0.02ポイント上昇、53か月連続で1倍を超え
項目	動向	コメント																							
個人消費	一部で弱い動きがみられるものの持ち直している	10月の乗用車販売台数（普通＋小型＋軽）は1.1%増で12か月連続の増加。																							
住宅建築	一服	9月の住宅着工戸数は、前年比5.3%増で2か月ぶりの増加。																							
設備投資	持ち直し	普通貨物（△8.3%）と小型貨物（△11.1%）が2か月連続で減少、軽貨物（△11.1%）は7か月ぶりの減少。																							
公共工事	横ばい	10月の公共工事請負件数は前年比10.5%増で4か月ぶりの増加。																							
輸出入	足踏み	県内2港の通関輸入額は、15.5%増と3か月連続の増加。																							
生産活動	回復	8月の鉱工業生産指数（季調済）は140.1と前月比（+4.2%）で2か月連続の上昇、原指数は130.9と前年比（+5.4%）では5か月連続の上昇。																							
雇用情勢	高水準続く	9月の有効求人倍率（季調済）は1.64倍で、前月比0.02ポイント上昇、53か月連続で1倍を超え																							

調査レポート名	概要（一部抜粋）														
三重銀総研 「調査レポート」 No. 90 2017年10月	<p>「地域間連携で創出する地方の力～多様な地域間連携の動きと地域活性化への取組～」より</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="383 1249 906 1585"> <p>図表2 地域間連携の主な分野</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>主な連携内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活機能</td> <td>行政事務の共同化、図書館・公民館等の公共施設の共同利用</td> </tr> <tr> <td>医療・福祉</td> <td>圏域の中核的病院の周辺市の活用、救急病院の各地域での輪番対応、都市住民に対する連携先での介護施設等の受入</td> </tr> <tr> <td>産業</td> <td>企業誘致、MICE誘致、農工商連携</td> </tr> <tr> <td>集客・観光</td> <td>観光プロモーションの共同化、都市住民に対する地方の地域資源（自然など）の提供によるエコツーリズム展開</td> </tr> <tr> <td>基盤整備</td> <td>地域間のネットワークや結び付きを高めるための道路・通信など社会インフラの整備</td> </tr> <tr> <td>危機管理</td> <td>災害時相互援助協定</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>（資料）各種資料を基に三重銀総研作成</small></p> </div> <div data-bbox="938 1249 1444 1585"> <p>図表4 定住自立圏の取組状況</p> <p><small>（資料）総務省HPより</small></p> </div> </div>	分野	主な連携内容	生活機能	行政事務の共同化、図書館・公民館等の公共施設の共同利用	医療・福祉	圏域の中核的病院の周辺市の活用、救急病院の各地域での輪番対応、都市住民に対する連携先での介護施設等の受入	産業	企業誘致、MICE誘致、農工商連携	集客・観光	観光プロモーションの共同化、都市住民に対する地方の地域資源（自然など）の提供によるエコツーリズム展開	基盤整備	地域間のネットワークや結び付きを高めるための道路・通信など社会インフラの整備	危機管理	災害時相互援助協定
分野	主な連携内容														
生活機能	行政事務の共同化、図書館・公民館等の公共施設の共同利用														
医療・福祉	圏域の中核的病院の周辺市の活用、救急病院の各地域での輪番対応、都市住民に対する連携先での介護施設等の受入														
産業	企業誘致、MICE誘致、農工商連携														
集客・観光	観光プロモーションの共同化、都市住民に対する地方の地域資源（自然など）の提供によるエコツーリズム展開														
基盤整備	地域間のネットワークや結び付きを高めるための道路・通信など社会インフラの整備														
危機管理	災害時相互援助協定														

調査レポート名	概要（一部抜粋）
三重県信用金庫協会 「三重県しんきんレポート」 vol. 18 2017年7月	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>● <b>資金繰り(カネ)</b>                      資金繰り判断DIは▲2.7と、前期比1.2・2ポイントの大幅な改善となった。</p> <p>● <b>設備投資(モノ)</b>                      設備投資実施企業割合は30.4%と、前期比1.6ポイントの改善となった。</p> <p>● <b>雇用(ヒト)</b>                      人手不足判断DIは▲41.1（マイナスは人手不足「超」と、前期比▲3.4ポイントで前期1月～3月期の上昇から低下へ転じ、高水準での人手不足感が続いている。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>北部 北勢・伊賀の業況</b></p> <p style="text-align: center;"><b>業況は4期連続して改善するも、来期は悪化の見通し</b></p> <p>● <b>直近の業況</b>                      2017年4月～6月期の三重県北部の業況判断DI（実績）は12.0と、前期比+1.5ポイントの改善となった。業種別では、製造業、小売業、不動産業、建設業で改善、卸売業、サービス業で悪化となった。</p> <p>● <b>来期の見通し</b>                      2017年7月～9月期の三重県北部の業況判断DI（予想）は5.3と、当期比▲6.7ポイント悪化の予想である。業種別では、小売業、サービス業で横ばい、卸売業、不動産業、製造業、建設業で悪化の予想である。</p> </div> </div>